

令和2年度 「志教育」実践事例

本校では令和元年度から、文部科学省「地域との協働による教育改革推進事業」の指定を受け、さまざまな地域協働による活動を行い、これからの社会に必要な能力の育成に取り組んできました。また、以前から国際交流や防災教育などの機会を数多く設けており、本校の目標である「新しい時代の社会に貢献できる人材」を目指した教育活動がなされています。

●防災体験学習

【かかわる】：グループワークで意見交換をしながら考えをまとめていく。

【もとめる】：救急法など、災害時に役立つ技術を学び、地域社会に貢献できる姿勢を醸成する。

【はたす】：災害についての正しい知識と、向き合う心を養い、未来を生きる力につなげる。

◆1年生…状況に応じて身近にあるものをどのように活用して災害に対応したら良いかゲームをとおして学びました。また、防災カレンダーに掲載する標語をクラスで考える活動により様々なアイデアを共有しながら防災意識を高めることができました。

◆2年生…防災意識を高める標語づくりの活動のほか、zoomを用いたリモートによる安否確認を体験した。

◆3年生…風水害に関する防災クイズを各クラスの防災協働員が考案し、楽しみながらいざというときに正しい行動がとれるようにする活動を実施しました。

●地域貢献活動

【かかわる】：小学生や地域とコミュニケーションをとり、社会性を養う。

【もとめる】：さまざまな活動をすることでやりがいを感じ、自分の進路意識向上へつなげる。

【はたす】：活動による成果を感じることで、自分の役割達成を実感する。

ボランティアスタッフや生徒会、部活、委員会、有志生徒などによる活動が、さまざまな場面で行われました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの活動が難しかったものも多々ありましたが、生徒会や部活動、有志生徒などによる活動が様々な場面で行われました。

◆募金活動（生徒会）

令和2年7月豪雨を受けて募金活動を行い、集まった義援金37,722円が東松島市社会福祉協議会を通して宮城県共同募金会へ届けられました。

◆石巻支援学校交流演奏会（吹奏楽部）

毎年恒例となった本校吹奏楽部による交流演奏会。今年度も8月27日に石巻支援学校を訪問し、高等部の生徒の皆さんに向けて「ミッキーマウス・マーチ」や「銀河鉄道999」などの演奏を披露しました。

◆地域支援ボランティア（有志生徒）

有志生徒から成る「ボランティアスタッフ」の今年度の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により思うような活動ができませんでした。そのような中でも、地域のNPO法人の協力を得ながらイベントの企画や運営に携わるなど、意欲のある西高生が自分の住む地域を盛り上げようと頑張っています。



●国際理解講演会

【かかわる】：海外の方や、国際協力活動を行っている方をお招きし、貴重な経験を直接聞く。

【もとめる】：講演内容から、国際社会における自己の役割を考える。

◆11月17日(火)テーマ「共生：グローバルシチズンシップ」

宮城県石巻西高等学校

児童労働や気候変動と自分たちの消費行動との関連性を学び、自分たちの生活がグローバルイシューと密接にかかわっていることを理解し、世界的規模で物事を考えて行動できる資質を養いました。

◆12月22日(火)テーマ「交流：多文化共生について考える」

宮城県に在住して働く外国人を講師に招き、自国の文化と比較し異文化について考える機会をとおして国際理解や異文化理解の重要性を知るとともに、相手の立場で物事を考え・行動することの大切さを学びました。リモートによる開催でしたが遠く札幌に住む方にもご参加いただき、終始和やかな交流会となりました。



◆9月25日(金)テーマ「貢献：人道支援を考える」

実際に災害や戦争などの現場で医療活動を行った方から講演を頂くことによって、今現在の世界で起こっていることについて学び、相手の立場で物事を考え・行動することの大切さを学び、国際的なNGOの活動についてその活動の重要性について理解を深めました。



●課題研究

【かかわる】：地域や社会においてコミュニケーションをとり、社会性を養う。

【もとめる】：自分の興味のある学問分野について、自ら課題を設定し、探究活動を行う中で進路意識の向上と学問を追求する姿勢を養う。

◆ミライブラリー(1 学年)

地域の社会人を講師として招き、1名の講師を5名程度の生徒が囲み話しを聞きました。講師の方がこれまでの経験を語り、高校生にとっても身近に語りかけてくれるイベントで、成功体験だけではなく、挫折経験や高校時代のエピソードなども話していただきました。聞く力や聞き出す力を養いました。



◆地域探求型フィールドワーク (1 学年)

単なる職業体験ではなく、対話力を鍛えながら事業所から与えられたミッションの解決策を探り、提案するプロセスを取り入れた探究的視点をもったインターンシップを行いました。



◆街クエスト(2 学年)

出身中学校区の中で自分が紹介したい地域のスポットについてフィールドワークを行い報告しあう活動を行いました。実施後はグループを編成し自分たちが発見したスポットをつなぎ合わせながら「地域魅力マップ」として模造紙にまとめ校内展示し共有しました。



◆石巻 One Day ハイキング(2 学年)

街クエストの事後学習として、発見したスポットを実際に歩くフィールドワークを行い、自分たちが発見した石巻の魅力を確認し、地域の成り立ちや魅力とともに課題を見出し、地域理解を深めました。

◆SDGs 課題研究(3 学年)

「SDGs 未来都市」に認定された東松島市の職員の方々を講師に迎えてSDGsと街づくりに関する講演をいただきました。その後は自分たちの地域周辺にある身近な問題に着目し、その課題可決に向けたアクションを考える探究活動を実施し、校内でプレゼンテーションを実施しました。



◆生徒探究活動発表会(全学年)

地元の銀行、企業、社団法人、商工会、行政、県内の大学数校などから大勢のゲストをお迎えして今年度の探究活動の報告会を実施しました。石巻地域に就職や進学する三年生、インターンシップに参加した一年生、地域でフィールドワークに取り組んだ2年生、自主的に放課後の探究活動に参加している生徒など、総勢7名の生徒が発表しました。質疑応答ではたくさんの励ましの言葉をかけていただきました。

